

さて、アブラム。

彼は子供がいまま、どんどん歳を重ねて行きました。

創世記 16:1

アブラムの妻サライは、アブラムに子を産んでいなかった。

彼女にはエジプト人の女奴隷がいて、その名をハガルといった。

ハガルを覚えていますか。

アブラムが家族を連れてエジプトに下った時に、彼女が与えられました。

あの話、覚えていますね。(創世記 12 章)

創世記 16:2

サライはアブラムに言った。

「ご覧ください。主は私が子を産めないようにしておられます。

どうぞ、私の女奴隷のところにお入りください。おそらく、彼女によって、私は子を得られるでしょう。」

アブラムはサライの言うことを聞き入れた。

彼は「分かった」と言って、このエジプト人の女性のところに入りました。

これは、とんでもないことではなく、当時のあちらの文化では一般的なこと。

ウル、バビロンの文化では、女性が子供を産めない場合、女奴隷に夫と関係を持たせ、生まれた子供は正妻と夫の子とみなされていたのです。

だから、ここに書かれていることは、当時の彼らの地の文化では、何もおかしいことではありません。

創世記 16:3-4

3 アブラムの妻サライは、アブラムがカナンに地に住んでから十年後に、彼女の女奴隷であるエジプト人ハガルを連れて来て、夫アブラムに妻として与えた。

4 彼はハガルのところに入り、彼女は身ごもった。

彼女は、自分が身ごもったのを知って、自分の女主人（サライ）を軽く見るようになった。

ハガルは、自分の女主人サライを見下げるようになりました。

サライという名前は「切る物」、文字通り「鋭い舌」「切る物」という意味です。

後にサラ「王女」と変えられますが、ここでは鋭い舌であるサライ。

創世記 16:5-6

5 サライはアブラムに言った。

「私に対するこの横暴なふるまいは、あなたの上に降りかかればよいのです。

この私が自分の女奴隷をあなたの懐に与えたのに、彼女は自分が身ごもったのを知って、私を軽く見るようになりました。主が、私とあなたの間をおさばきになりますように。」

彼女はアブラムに腹を立てています。スゴイですね。

6 アブラムはサライに言った。

「見なさい。あなたの女奴隷は、あなたの手の中にある。あなたの好きなようにしなさい。」

それで、サライが彼女を苦しめたので、彼女はサライのもとから逃げ去った。

ここでいくつかお話しておく、まず問題から言うなら、それは不妊でした。

妻サライは「これが実践的よ。急場しのぎになるわ。

ほら、私は歳を取って不妊だし、あなたも歳を取って来ている。でもアブラム、良い方法があるわ。」
だけど、その提案は急場しのぎであって、従順ではありませんでした。

一見、理論的に見えます。文化的には受け入れられていました。頭の中ではメリットもありました。
しかし、これは大失敗です。

急場しのぎで、従順ではありません。

息子のベニーには、本当にビックリしますよ。

ベンジャミンは 10 歳ですが、大した子供です。（*1998 年）

彼はとても活発で、いつも傷だらけ。

学校ではバスケットボールのトップ選手で、昨日もコンテストで優勝。

今度は上のレベルで、シュートなどが加わります。

とにかく運動神経が抜群で、いつもフットボールや何かをしていて、傷だらけ、泥だらけ、ものすごく活発。
それが、全く別の面も持っていて、私はそれに驚くのです。

彼はわが家の他の子供たちと違って、息子の PJ、ピータージョンとは大違いです。

ベンは非常に几帳面で、彼の部屋は常に、全てが、全く正確に、整頓されていなければなりません。

彼は、ピータージョンが帰って来ると、とても不安がります。

ピータージョンの生き方は、自分とは全く違うことを知っていますから。

そこでベンは、自分の部屋を汚く見せる計画を立てました。

「パパ、靴下をここに、こんな風に置けば、散らかっているように見えるかな。」とか言いながら、あれこれと考えるのです。

本当ですよ。

鉛筆が入っている机の引き出しを開けると、全部の鉛筆がキレイに削られて、みんな同じ方向を向いている。

とにかくすごいのです。

そのように、全てをキッチンとキレイに整理整頓しているのに、スポーツになるとドロドロ。

面白い両面を持っています。

それでいて彼は、何でも正解を求めて、いつも私や妻にあれこれと質問し、聞いて来ます。

「これはいい?」「これは正しい?」「じゃあ、これは?」

だから私たちは今、ベンに教えている最中です。

何週間か前、私はベンに言いました。

「ベン、いつも正しいことを行おうとして、とても偉いよ。

神様がアダムとエバを造られた時、園での人生はそうだったんだ。」

神は、アダムとエバに全てのことを聞いてほしかったので、エデンの園で言われました。

「善悪の知識の木から食べてはいけない。

あなた方が善悪の知識の実を食べたなら、自分たちは何が善で何が悪かを知っている、と考えるようになる。

そうするともう、わたしに話しかけなくなる。

あなたがたには、わたしと歩み、わたしを頼り、わたしの近くにいて欲しい。」

それまでアダムとエバは、「お父様、これはどうですか? あれはどうですか?」と言っていたのです。

それが、善悪の知識の木から食べた後、彼らはもう神とコミュニケーションをしなくなりました。

「私たちは裸だ。隠れよう。」「いちじくの葉で服を作ろう。」
知識は人を高ぶらせます。

だから私は言いました。

「ベニー、すごくいいことだよ。とても誇りに思うよ。キミはいつも聞きながら生きている。そうあるべきなんだ。でもね、ベニー…、ベニー…、神様に聞くようにしようか。パパもママも、いつもいつも、一つひとつの質問には 100% 答えられないんだ。ベニー、どうすればいいのか知りたい時は祈ろう。神様がキミに話しかけてくれるよ。キミがしていることは、とても幸せなことなんだ。主に話しかけてごらん。」
「分かった…OK。分かったよ。」

私はエデンの園でのことを彼に教えたのです。

彼がしていることは本当に素晴らしい。

でも、御父に聞きながら導きや答えをもらって、神と共に歩むことを学ばなければならないと。翌朝、ベニーは眉をひそめながら起きて来て「ママ？」
ベニーは起きるといつも妻に、私がいれば私に聞きます。
「どの箇所を読めばいいの？ 正しい箇所を読みたいんだ。今日はどの御言葉を読めばいい？ 今日のディボーションは 6 時 21 分から 6 時 43 分までの予定だから。」

これがすごく面白いことに、彼の部屋の時計は、秒針までキッチリ合っていないといけません。

だから妻は、テレビがある部屋まで行って、秒単位の時刻が出るチャンネルを見ながら大声で伝えます。秒単位まで合わさないといけないから、本当にすごいんです。

わが家の唯一の時計も正確とはほど遠くて、いつも違う時間を示しているのに、彼の時計は…

ベニーがすごく欲しいのは、雑誌で見つけた 99 ドルの原子時計で、1000 万年に 100 万分の 1 秒しか狂わない。無線周波で動いている時計。彼はそれが欲しいのです。

「これなら、きっちり正確な時間が分かるんだ！」

ということで、ベニーはやって来て言いました。

「どこを読めばいいの？ どこが正しい箇所なの？」

そこで妻が、「昨日、パパは何て言ってた？ 祈りなさい。」

「分かった。」

そして彼は祈ってから、また眉をひそめてやって来て言いました。

「祈ったら、主が『ネヘミヤ記 16 章を読みなさい』って。だから聖書を開いたら・・・
ないんだよ！ 16 章が！」

ネヘミヤ記は 13 章までしかありませんから。

「これはどういうことなの？」と。

それで言ったんです。

「ベニー、いいかい？ これは素晴らしいことだよ。

何をすればいいか、自分では分かっているつもりでいても、誰かが『これをするべきだと思う』と言ったとしても、御言葉にないことはしちやいけない。

聖書にないなら、キミがどう感じようと、人が何と言おうと、そんなことは関係ないんだ。
これが、神様から君へのメッセージだよ。
聖書の中にないなら、それはない。そこにはない事はしない。これが今日の学びだよ。」
「分かった!!」

でも、これは真実ですよ。
それがどれだけ、その場しのぎになったとしても、してはいけない。
それだけですよ！
「これは道理にかなっているわ。私の女奴隷を取りなさい。」
でも、彼らは神に聞きませんでした。
彼らがした事は、神の計画にはなかったこと。
その場しのぎであって従順ではない。
不妊問題への提案はサライの考えで、神の考えではありません。
だから、代価が伴いました。
代価とは、すなわちダブルトラブル、家庭内の問題と歴史上の問題です。
なぜかと言うと、これで生まれた子供イシュマエルが問題を生み出すから。

なんと、サライはハガルを見て怒りを感じます。
ハガルが彼女を見下すから。
「ほらほら、私には子がいるのよ。あなたにはいないけど。」
そこでサライは夫のアブラムのところに行って、「神が、私たちの間をおさばきになりますように！」
サライはアブラムに向かって行きましたが、元々、これは彼女の考えでした。
なのに今、彼女は立腹している。
だからアブラムは、「あなたの好きなようにしなさい！」

先日、ラジオでジークムント・フロイト（1856-1939）の話をしていたのですが、彼のキャリアの終わりの言葉を引用します。
「30年間カウンセリングをしてきたが、女性に聞きたいことが一つある。一体、何がしたいんだ？」
これはまさに、アブラムが言いたかったことでしょう。
「一体、何がしたいんだ!？」
「これはあなたの考えで、私はあなたが言った通りにしたじゃないか。
それが今度は、神が私たちの間を裁きますように？
あなたへのハガルの横柄さは、私のせいなのか？
一体、何がしたいんだ!？ 何でも好きなようにしなさい！」

このように、家庭の中に問題が生じました。
2人の主人に仕えることはできません。2人の妻を持つことはできません。
人生で、2人の女、2人の男を持つことはできません。
上手くいかない。
それが問題の種となることは知っていますね。
それは本当だということが彼らにも分かりましたが、歴史は未だにそのツケを払っています。
次の章で約束の子イサクが生まれますが、それでもまだ問題があり、互いにいがみ合い、今後も続いていきます。

御国が来るまでは。

歴史上最大の問題は、この出来事が原因です。

アブラムとサライが、神の言われたことを行わなかったから。

彼らは、自分の意思で動きました。

彼らは、神の手助けをしたつもりでした。

彼らは、サナギを切りました。

彼らは、神に手を貸そうとし、主を待ち望みませんでした。

だから、未だにあの地域は緊張状態にあるのです。

問題、憎しみ、敵意、全てはこの話、この出来事が始まりです。

では、これからどうなったでしょう。

アブラムはサライに言いましたね。

「あなたの好きなようにしなさい。何でも思うようにすればいい。」

それで、サライはハガルをいじめます。

ハガルはいじめられ、家を飛び出し、サライの元から逃げ去りました。

「意地悪すれば逃げ出すだろう。」これが、サライの計画だったのです。

そして次に起こること、ここから驚きの面白い展開になります。

そこでハガルに起こることは、実に衝撃的でビックリです。

それは次回の学びで見えていきましょう。

祈りましょう。

お父様。

実に多くの真理が、この話の中に盛り込まれています。

あなたは、実に多くの実践的な絵を描いて下さいました。

お父様、今夜、あなたが私たちの盾であり、報いであることを実感しながら帰り行きますように。

お父様、私はあなたから何かを頂くことを願いがちです。

だけど実際は、私が飢え渴いているのは単にあなたです。

どうか今夜、不満や何かと葛藤している人たちが、最終的にはあなたを求めているんだということを理解し、あなたが義の衣を着せて下さることを、ただシンプルに信じますように。

主よ、あなたが通り過ぎて下さったので、私たちは格闘したり、自分の力で鳥を追い払おうとしたり、自分が途中まで行ってあなたと契約しようとするのを止めて、ただ安らぎます。

お父様、今夜を感謝します。

イエス様、あなたが最後まで成し遂げて下さるのを知っているので私たちは平安です。

同時に、私たちの信仰が鍛えられますように。

今夜ここにいる全員を、サライとアブラムが犯した間違いから守って下さい。

あなたのプロセスを早めようとしていたり、あなたを手助けしようとするののないように。

お父様、あなたに信頼し、忍耐強くあなたを待ち続けることができますように。

先ほど賛美したように、主よ、私たちの助けはあなたのタイミングで、あなたから与えられるのです。

お父様、ここにいる全員を祝福して下さい。

葛藤している人たち全てを祝福して下さい。
彼らがこの話を聞いて理解しますように。
そして今夜から、ただ聞くだけでなく、行動する私たちとなりますように。

お父様、私たちは真理を抱きしめます。
あなたの道は正しいのです。
救いと義を与えて下さり感謝します。
あなたを祝福します。
ここを出ても、これらの真理が私たちにしっかり留まりますように。
そして、あなたの聖霊がそれを思い出させて下さり、私たち一人ひとりが適用していきますように。
イエスの御名によって。
アーメン。

つづく

Ⅱ ヨハネ 9

だれでも、「先を行って」キリストの教えにとどまらない者は、神を持っていません。
その教えにとどまる者こそ、御父も御子も持っています。

「今日、もし御声を聞いたら、あなたがたの心を頑なにしてはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波

DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

※インターネットのメッセージを文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。
どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。